

# 日本労働組合会議第四回執行委員会

## 議案書記局案

### 第一號議案

ソートリアル・ダンピング問題に対する態度の決定今日  
吾等の問題となつてゐる我々商品の水木の如き海  
外進出の要素を我々はたの如く見居る

- (1) 円貨の騰貴
- (2) 低賃銀と長時間労働
- (3) 労働者の勤勉
- (4) 優秀なる生産技術
- (5) 輸送貿易に対する政府の各種補助

しかしながら右記せる諸要素のうち(1)円貨の騰貴問題  
も除けば他の諸要素は今日俄かに惹起せるものに非  
ずして以前より存在せるものである

又円貨の騰貴の問題も英米西国に於てブロッツの経済  
政策樹立の爲めに必要なる條件として計畫的に実施せる  
金本位の離脱又は平價切下げ等の如く意識的乃至計畫

的に採用されたる貨幣政策の結果に非ずして先年我々  
政府が金輸出禁止も断行せる結果として我々貨幣に対す  
る海外信用が下落せる自然的現象である

従つて今日見る日本商品の海外市場への進歩発展形勢  
も以て直ちソートリアル・ダンピングなりとすることに相  
當の疑点が存するものと我々は苟くはならぬ、況んや日  
本商品の海外進歩の最大要素を低廉労働の一点に帰せし  
とする事は不当なりと云ふ事は末なにかも分らないが  
その批判のうちには大の誇張と偏見の存在する事を  
我々は諒むるものである

しかしながら我々産業の労働条件が欧米工業諸国の  
それと比し著し低分なる事は吾等周知の事実である殊に  
今日ソートリアル・ダンピング問題の焦点である輸送産業  
の大部分が中小工業乃至家内工業の生産過程を経たる産  
物なるも知るとされしかも此の種工業に於ける労働者の大部  
分は工場法の保護法規すら適用されざる現状を見るべき